

2月の衛研検査情報

～トピックス～

年末一斉食品収去検査

年末食品等一斉点検事業は、厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長から出された「平成28年度食品、添加物等の年末一斉取締りの実施について」の通知に基づき、食品流通量が増加する年末および食中毒患者が最も発生する冬季における食中毒の防止を図るとともに、積極的に食品衛生の向上を図る見地から、全国一斉に実施されました。

年末一斉点検の期間中に、食品専門監視班および福祉保健センターの収去により搬入された検体について、当所が行った食品添加物検査および細菌検査の結果について報告します。

主な結果 食品添加物検査は、158検体（輸入品83検体、国産品75検体）の食品について、菓子類、かん詰・びん詰食品などを重点的に、保存料、着色料、酸化防止剤など2,100項目の検査を実施しました。その結果、「清涼飲料水」に分類されるゼリー飲料1検体から表示にないパラオキシ安息香酸（保存料）を検出し、この1検体が食品衛生法違反（表示違反）でした。その他の検体はいずれも食品衛生法に適合していました。

細菌検査は、97検体の食品について、食肉製品、魚肉ねり製品、そうざいなど、211項目の検査を実施しました。その結果、規格基準違反はなく、弁当そうざいの衛生規範不適合が2検体ありました。

魚介類中のPCB検査

平成28年6月と10月に中央卸売市場で収去した市内に流通する魚介類9種10検体について、PCBの検査を行いました。

主な結果 1検体からPCBを検出しました。しかし、検出された値は暫定的規制値以下でした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成29年1月は、インフルエンザ流行情報、ノロウイルスによる感染性胃腸炎、大麻（マリファナ）、感染性胃腸炎の発生状況に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は136,354件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。